

彙報

昭和三十五年度
国文学科講義題目

中国文学
中国古典
日本史
東洋史
書道

小西 講師
小西 講師
箭内 講師
日野 講師
小森 講師
倉野 教授
井手 教授
目加田 教授
松田 助教
鈴木 助教

西鶴の作品における町人の自我意識
緒方 信子
漱石における「東洋」
荻原美智子
近松浄瑠璃と仏教
小田喜美子
記紀における后妃とその出自氏族
勝野 洋子

徒然草論

— 儒教との関係における —

川元美恵子

今昔物語集

本朝篇における人物描写

北川 弘子

平安時代サロンの文芸活動

楠 久子

問はず語りと増鏡

佐藤 順子

金平浄瑠璃の研究

清水 睦代

菅原家の文芸

関 陽子

万葉集の色彩観について

高津 寿子

岡本綺堂の研究

— 反抗精神を中心として —

立石 倫子

続日本紀における薨卒伝について

富田 喬子

上田秋成の歴史小説について

永松 幹子

源氏物語における端役の研究

長友千寿恵

宇津保物語の人物描写

西村 侑子

亭子院の文芸活動

日高 幸子

国文学

古事記上巻

倉野 教授

伊勢物語

倉野 教授

方丈記

井手 教授

本居宣長

井手 教授

源氏物語講読

目加田 教授

枕草子講読

目加田 教授

日本文学史

松田 助教

西鶴

松田 助教

国文学特講

唐物語の研究

— 翻訳技巧を中心にして —

有吉恵美子

歌物語の研究

目加田 教授

近世文学と評論

松田 助教

国文学演習

上田秋成研究

— 氣質物を中心として — 井内 和子

万葉集 卷二

倉野 教授

中世歌論

井手 教授

国語学

— 戯財録の戯曲論を中心として — 市丸 瑛子

国語学概論

鈴木 助教

日本語の変遷

鈴木 助教

国語学演習

続日本紀宣命における送り仮名について 上田ノブ子

日本語演習

物語における葛藤の性格 大屋フキ子

日本書紀歌謡

鈴木 助教

言語学概論

北西 講師

岡崎 桂子

人麿歌集における用字および表現

平木 幸子

今昔物語集 震旦部の研究
歌合の研究

藤野 愛子

—その本質と発生について—

前野 梢

万葉集における特殊仮名の異例の考察

—主としてかけ詞の観点から—

真武 淑子

源氏物語に於ける罪障意識

—男主人公を中心として—

松尾貴美子

万葉集における戯書の研究

松藤 久子

今昔物語 天竺篇と仏典との関係

—法苑珠林を中心として—

矢頭 泰子

大伴家持における模倣性

矢野 昌子

万葉集と遊仙窟

山口 直子

源氏物語における性格描写

—女性を中心に—

山口 和子

万葉集の伝説歌

和田佐保子

成尋阿闍梨母集について

和田 直子

日本霊異記の研究

藤原 明恵

幸若舞の国語学的考察

長与 和

国文学会第五回公開講演会

福岡女子大学国文学会主催の第五回公開

講演会は、例年のように、五月十日（日）

太宰府天満宮で開催。各講師の講演題目は
左のとおり。

いわゆる音便をめぐって

本学助教授 鈴木真喜男

芭蕉の挫折

同 松田 修

上代漢文芸作家の位相と性格

本学教授 目加田さくを

遁

世 同 井手 恒雄

枕詞とは何か

本学教授 倉野 憲司

香椎 瀉 発行

福岡女子大学国文学会機関誌「香椎瀉」

第六号が本年七月に発行された。

国文学研究室

受贈図書雑誌

(三四・一一―三五・一〇)

伝津守国冬筆本源氏物語の周辺

岩下 光雄氏

愛知県立女子大学附属図書館

善本目録（国語・国文学篇）

愛知県立女子大学

九州大学蔵歌書目録―旧刊本・写本之部―

九州大学国文学研究室

カンナの頼かぶり（川島つゆ著）

倉野 憲司氏

国文学論叢 第三輯 平安文学

慶応義塾大学国文学研究会

渋柿 34年10月―35年10月 渋柿社

人文研究 第10巻第8号 第11巻第7号

大阪市立大学文学会

国文学研究 第二十集 第二十一集

早稲田大学国文学会

樟蔭文学 第十一号 大阪樟蔭女子大学

国語国文学会誌 第4号

学習院大学国語国文学研究室

国語国文学 3 4 5

名古屋大学国文学会

武蔵大学論集 第7巻第1号

武蔵大学学会

実践文学 第八号 第九号 実践文学会

国文学 第二十七号 第二十八号

関西大学国文学会

りてらえやぼにかえ 第二号 第三号

日本書房

国文学攷 第二十二号 第二十三号

広島大学国語国文学会

日本文学 第三号 第四号

立教大学日本文学会
紀要 第十二輯 第十三輯

青山学院女子短期大学
語文研究 第九号 九州大学国文学会
文学論藻 第十五号、第十七号

東洋大学国語国文学会
女子大国文 第十五号、第十八号
京都女子大学国文学会
国語国文研究 第14号、第16号

北海道大学国文学会
富士大学論叢 第4巻 富士短期大学
天理大学報 第三十輯 天理大学人文学会
早稲田大学大学院文学研究科 紀要 5
早稲田大学大学院文学研究科
二松学舎大学論集 昭和33年度 34年度

二松学舎大学
二松学舎大学創立八十周年記念論集
成城文芸 第二十号 第二十二号
同
成城大学文芸学部研究室
日本文学 第十三号 第十四号

東京女子大学日本文学研究会
紀要 第10輯 愛知県立女子大学
国語国文学報 第十集 第十一集
愛知学芸大学国語国文学会
研究 第二十号 第二十一号

神戸大学文学会
聖心女子大学論叢 第十三集 第十四集

聖心女子大学
文学論叢 第19輯 愛知大学文学会
甲南大学文学会論集 10 11

甲南大学文学会
国語研究 第九号 国学院大学国語研究会
東方古代研究 第九号 東方古代研究会
中国文芸座談会ノート No.12

九大中国文学研究会
紀要 第三号 共立女子大学短期大学部
甲南国文 第五号 第六号

甲南女子短期大学国語国文学会
説林 第五号 第六号 愛知県立女子大学
漢文学会会報 第十一輯
国学院大学漢文学会

国文 第十二号 第十三号
お茶の水女子大学国語国文学会

武蔵大学論集 開学十周年記念論文集
武蔵大学学会
しその実 第2号
広島女子短期大学国文学研究室

研究紀要 第10集
佐賀龍谷学会紀要 第七号
佐賀龍谷短期大学
金沢大学法文学部論集 7

金沢大学法文学部
人文社会 第十九号 第二十号

弘前大学人文社会学会
明治大学短期大学紀要 4

明治大学短期大学
人文科学科紀要 第21輯

東京大学教養学部人文科学科
中央大学国文 第三号 中央大学国文学会
和歌文学研究 第九号 第十号 和歌文学会

清泉女子大学紀要 7 清泉女子大学
山辺道 第六号 天理大学国文学研究室

愛媛国文研究 第九号 愛媛国語国文学会
文学論輯 第七号

九州大学教養部文学研究会
不知火 第十二号

熊本大学教育学部国文学会
大分大学学芸学部紀要 第九号 A集 同 B集

大分大学学芸学部
九州中国学会報 第六巻 九州中国学会
女子大文学 第十一号

大阪女子大学国文学研究室
跡見学園国語科紀要 8

跡見学園国語科研究会
国語教育 第五号 初音書房

語文 第八輯 第九輯 日本大学国文学会
文芸研究 第七号 明治大学文芸研究会

大東文化大学漢学会誌 第三号

大東文化大学漢学会

語文 第二十三輯 大阪大学国文学研究室
文学論集 2 佐賀大学文理学部国文学会
方言研究年報 第三卷 藤原与一氏
国文論叢 第八号 神戸大学国語国文学会
国語国文 第二号 立正大学国語国文学会
薩摩路 第五号

鹿児島大学文理学部国文学会

書陵部紀要 第十一号 宮内庁書陵部

日本学士院紀要 第十七卷第三号

倉野憲司氏

人文科学研究 第16号

明治大学和泉校舎研究室

兼好の道の論について(抜刷)

高知大学国文学研究室

梁塵秘抄の一童謡(同) 同

訂 正

本誌一八号所載の拙稿「新訳華嚴經音義私記の直音音注」のうち、

152、憤両……………下堯(養一羈 力一五 58)

の「両」字は、原本「内」字、すなわち「吏」字(又作鬧)をよみあやまっ
たものである。

たゞしくは、

肴韻

123、憤吏……………下堯(效一羈 奴一五 58)

として、豪韻のつぎに位置する。したがって、123 以下 151 までのとおし番号
は、ひとつづつくりあがり、第三節中の番号も、これにしたがって、変更す
る。注18は、削除する。

みぎのあやまりをおかした点、忸怩たるものがあるが、とりあえず、こゝ
に訂正する。

(鈴木真喜男)